

今年の11月は冷たい雨の降る一日で始まりました。市街地を巡り囲む山々は赤や黄に色づき始めたところで（北に上がると既に紅葉が見ごろの所もあるそうです）、秋の深まる様相を見せています。日一日と美しさを増す山や阿哲峽を眺めるのは心落ち着くひとときです。一方ここ数日の朝晩の冷え込みはもはや初冬とも言えるほどで、季節のせめぎ合いの妙が感じられます。

昨日（10月31日（金））から「第2回新高祭北校地文化の部」が行われています。2日目の今日は吹奏楽部の演奏を口開けに、体育館でのバンド演奏、教室を会場にクラス・科・文化部・委員会などの展示、生物生産科と総合ビジネス科の販売実習など多彩な催しを一般公開で実施し、あいにくの雨で「和牛の碁盤乗り」、「ポニーの乗馬体験」といった人気の演目が中止になったにもかかわらず、多くの保護者・市民の方に来校いただきました。平素から本校の活動を温かく見守っていただき、ありがたいことと感謝しています。

さて、10月17日（金）岡山県教育委員会から来年度の県立高等学校の募集定員が発表されました。新見高等学校は、次のような募集定員となりました。

普通科	105名
生物生産科	30名
工業技術科	35名
<u>総合ビジネス科</u>	<u>35名</u>
合計	205名

今年度までに比べて25名の減員となりますが、（1）各科が目指す教育、教育課程（カリキュラム）や指導内容はまったく変わらないこと、むしろ、（2）これまで以上に生徒の皆さん一人ひとりの長が活かせるように行き届いた丁寧な指導体制をつくること、（3）大学や社会から高校生に求められる力が確実に身に付けられるよう、授業・教科指導上の工夫をいっそう進めることとお約束いたします。ですから中学生と保護者の皆さんにはご安心いただきたいと思います。

日が暮れるのが早くなり、新人大会県予選も終わり、部活動も多くがシーズンオフ（来季に向けた基礎力の充実期）に入ります。そんな中、男子ソフトボール部と弓道部男子団体・個人、女子個人がこれから中国新人大会に臨みます。弓道競技では高体連専門部の役員の先生方からも「新見は再び力をつけてきた」との声をいただいています。22日（土）、23日（日）の結果が待たれます。

今月もトピックスを次々と紹介していきます。ぜひたびたびご訪問ください。Facebookとリンクしていますので、そちらで登録していただくとより早く情報をお届けできるかと思えます。よろしくお願いいたします。

平成26年11月1日（土）

文化祭終了後、余韻さめやらぬ北校地にて

岡山県立新見高等学校長 松井 健一